

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	技術・家庭(技術分野)			
教科	技術・家庭科	時間数	2時間	学年・コース
使用教科書	新しい技術・家庭 技術分野 (東京書籍)			
副教材等	正進社 技術・家庭ノート 技術分野			

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	情報の技術 ・情報技術の原理・法則と仕組み ・双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 ・社会の発展と情報の技術		10月	・生物育成の技術による問題解決	
5月	材料と加工の技術 ・材料と加工の技術の原理・法則と仕組み ・材料と加工に技術による問題解決		11月	エネルギー変換の技術 ・エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み	
6月	・ウッドラックの製作		12月	・発電の仕組みと特徴 ・電気回路の仕組み ・電気安全	第2学期期末考査 (授業内実施)
7月		第1学期期末考査 (授業内実施)	1月	電気回路の設計・制作	
8月			2月	・問題解決の評価・改善・修正	
9月	生物育成の技術 ・生物育成の技術の原理・法則と仕組み		3月		第3学期期末考査 (授業内実施)

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度
上記の3観点のA, B, Cの組み合わせから5段階評定を算出します

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [小テストや定期テスト(授業内実施)の理解力]
② 思考・判断・表現 [課題の表現力、創造力]
③ 主体的に学習に取り組む態度 [課題の提出状況、出席、授業に取り組む姿勢・意欲]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します